

令和3年度第1回 長洲町立中学校統合整備計画策定に関する懇談会

会議録要旨

【開催日時】 令和4年1月25日(火) 午後7時開始

【開催場所】 長洲町中央公民館 研修室

発言者	発言要旨
	【開会】
委員長	議題1統合する中学校について、事務局から説明をお願いします。 説明の後に、質疑の時間を取ります。その際に、ご出席の皆様、お一人ずつにご意見をいただきたいと思います。それでは事務局お願いします。
学校教育課長	(資料に沿って説明) 中学校の統合後の中学校の場所について、長洲中学校、腹栄中学校のどちらかに統合する、または新たに中学校を新設することの3パターンを想定しています。どちらかの中学校を統合先とする場合は一部の改修がどちらも必要となります。長洲中学校は統合後の人員を受け入れる校舎の規模が足りないため、校舎の増設が必要となります。腹栄中学校について規模は問題ないが、2学級で推移していくと想定し改修しているため、現在教室として使用していない部分の改修費用が必要となります。中学校を新しく用地取得し建設する場合は、22億円以上の費用が想定されます。また、どちらかの中学校の敷地内に新設すると仮定した場合は、16億円程度の予算が必要となる見込みです。両中学校の校舎や敷地の規模、通学距離や防災といった位置関係等の現況等を踏まえて、比較検討し、どれが一番望ましいのかご意見をいただきたいと思います。
委員長	説明ありがとうございました。事務局からまとめ的に状況を説明していただきましたので、まずは質問を受け付けたいと思います。
学校教育課長	本日は懇談会でございますので、なんでも結構でございます。皆様方のご意見をよろしくお願いします。
委員A	これは長洲中学校にするか、腹栄中学校にするかという方向性を決める会という認識でよろしいですか？
学校教育課長	この場で決定するのではなく、統合先をどこにするのかについて、委員の皆様にご意見をいただき、その結果をもとに、教育委員会が最終決定をする予定です。
委員A	追加になりますが、どちらかの中学校に統合した後、新しい中学校の建設を考えているのであれば、整備改修等の費用が二重でかかることになり、コストが増えると感じるのですが？
学校教育課長	仮にどちらかの中学校に統合した場合、教室の改修費用、学校設備の拡張、通学路の整備を行う必要があります。新設の場合は少なく見積もっても22億以上となり、国の補助3分の1を活用したとしても、町の財政上、多額の費用をすぐには捻出できない状況にあります。また、建設に要する期間についても、用地買収や土地整備が

	必要となり、早くても5年程度の期間を要すると思われます。前回の長洲町立中学校規模適正化調査委員会の中でも、中学校の現状、課題を早急に解決するためには統合という結論をいただきました。早急な解決を目指すための方法としては、現況の中学校を活用して進めていきたい。そして、大規模改修済みであり、耐用年数の面でも、あと15年程度は使用可能である腹栄中学校を選択し、15年間のうちに新校舎の建設を目指すというのが最良なのではないかというのが私たちの考えであります。委員の皆様のご意見も是非賜りたいと考えております。
委員B	統合後の制服については、新しいものを作るのか、どちらかの制服に寄せるのか、新たに費用負担が生じるので早急に決めてほしいというのが父兄の意見です。
学校教育課長	制服等の整備については令和4年度から令和5年度にかけて「新しい中学校づくり準備委員会(仮)」を設置し、児童生徒、保護者、地域の方のご意見をいただきながら、協議していくこととなります。
委員C	早急に統合する必要があると調査委員会では決定されましたが、早急にというのが、何年後に統合するかははっきりしていないので、新しく建ててほしいというのが私の意見です。改修ありきのこの案ではちょっと急ぎすぎではないかと感じています。
学校教育課長	調査委員会は早急に統合すべきとの結論で、町・教育委員会としてもすぐにでも着手し、早急に課題解決を図りたいとの方針になりました。生徒たちのために、早急に課題を解決し、より良い教育環境を整えるため、令和6年4月開校というスケジュールを組んでいます。新しい場所にというご意見は、実現可能なら一番望ましいことではありますが、時間と費用を要するため、次のステップで、新校舎の設立あるいは、小中一貫校などの検討を行い、実現を目指していきたいと考えております。
委員D	今回の目的が令和6年4月に新学校スタートとするなら、新しい校舎の新設という選択肢は理想的ではないので、長洲中か腹栄中かの2択で、どちらに統合するかという議論にしたほうがいいのではないかと思います。
学校教育課長	その通りでございます。課題をいち早く解決するためには、新設は考えられない。既存の中学校を利用していくという考え方になり、どちらの中学校にするのが望ましいかという議論になります。
委員E	子供たちが、一番の基礎であり、普通の教育を受けることができるように、早急に環境を改善する。そのため既存の中学校を選択するのがいいと思います。
委員F	新設校がいいと思うのはみんな同じではありますが、特別支援学級などの先生ほどの学校も不足しております。手厚い教育を行っていくためには、個別の支援が必要になりますので、一番大事なソフト面の充実にお金を使ってほしいと考えます。
学校教育課長	既存の中学校どちらかに統合となった場合でも、ハード面の整備が当然必要となります。どこまで改修を行うのか、そういう議論も必要と思われます。ただ、設備改修に何十億という費用は考えられませんので、現状で使用できる学校施設は使用していく必要があると考えます。将来的には現設備が老朽化し、使えなくなることが想定されますので、それに向けて新校舎の検討を行えればと考えております。
委員G	建物の状況を見ると、校舎は建築から40年程度経過しております。体育館は14年

	程度で問題ないかと思えます。耐用年数はどの程度を見込めばいいのでしょうか？
学校教育課長	現在の校舎は建設から40年程度経過しておりますが、腹栄中学校については令和元年度に耐用年数を延ばす目的で、長寿命化の大規模な改修を行っており、この先、15年から20年程度は使用可能と見込んでおります。
委員G	だいたい60年くらい大丈夫ということですね。今後、新校舎建設をしようとする場合、先ほどの説明からすると残された時間は10年くらいということになります。10年先は目に見えていますので、今回は統合に集中して、統合が終わった後すぐに、積み立てを含めた予算の確保、用地買収等に動き出す必要があると感じました。
委員H	今は丁寧に議論を行い、この場で決定せず、生徒、保護者だけでなく、地域住民や卒業生の意見を決定すべきと思えます。また、耐用年数についても、大規模改修から15～20年ではなく、令和15年～20年と表記し、次への動きも具体的に示すべきと思えます。配慮という言葉を常に持ちながら進めないと、プラスマイナス、メリット・デメリットだけでは、残る感情に込められないのではないかと心配しています。
教育長	今、日本のトップレベルは、小、中学校の概念を取り払い、義務教育学校を作るという取り組みです。同じ敷地内の同じ建物の中で、小学校1年から中学校3年生まで一貫して教育を進めようという発想です。こういった最先端の教育の情報も得ながら、長洲町に合った教育ビジョンを作る必要があります。ただ、現状ではそれを早急にやろうとしても成り立ちませんし、そのような中で新しい校舎を作ろうとしても、今の校舎と同じような校舎しか出来上がりません。これからの長洲町の教育が、他所からも羨ましがられるような教育を目指すには、もっと皆で知恵を出し合い、それを踏まえ、今後のビジョンを描く必要があると思えます。そのために今は、新鮮さはないが、今ある校舎で教育面の充実を図り、他所では行っていない新しい教育を行いながら基盤づくりをしたいと思えます。私としては、統合から10年後には用地が確保され、基本設計に入り、15年後には新校舎が出来上がっているという想定です。
委員H	令和15年という大きなゴールが存在し、その中に今回の統合があり、そのゴールに至るまでのプロセスを出しつつ説明会を行うなら、住民感情や卒業生などへも説明が行いやすいと思えます。単に最近改修をしたから、教室が多いから、腹栄がいいということでは理解を得るのは難しいと思えますので、そういう大きなゴールを示すことができたらいいなと思えます。
教育長	この懇談会は町を動かすチャンスだと捉えています。可能・不可能は別として、こちらの考えを町部局に伝えることで、町部局が財政等含め検討してくれると思えます。
委員I	資料には町長、教育長連名で検討を重ね、中学校の規模適正化について、結論づけましたとありますが、明確に法的に決まるのはどの時点でしょうか？
学校教育課長	最終的な議会の承認時期は、学校設置条例があり、条例改正を議会に諮り、議決をいただいた時が正式決定となります。ただ、学校名等が決まらない間は条例の改正もできませんので、まずは学校名を令和4年度中に決定し、令和4年度下期で議決を得る考えでございます。
委員I	事務局としてはある程度傾いているとのこと。まずは気持ちを揃え両中学校が

	一緒になろうよと、施設は置いといて、生徒が不利益を受けているから一緒になり解決しようと、まずは気持ちを揃えることからだと思います。
学校教育課長	この懇談会の協議結果をもとに統合の整備計画を作成しますが、当然その内容を、保護者だけでなく教育関係、地域の方にも説明していきます。その後は両中学校一体となって取り組んでいただく必要があるので、今両校にある学校運営協議会も一つにし、意思を統一して、学校運営にかかわってもらおう予定です。
委員D	個人的な意見を言わせていただくと、長洲町は町に2つの中学校があり、近隣と比較しても特殊だと思います。現状としては、子供たちが不利益を受けていて、早急に改善を考えているなら、防災面、通学の距離、改修の面においても腹栄中の方が理想的だと思います。まず一つにこのことならば、腹栄中で進めていいと思います。
委員J	統合に至った元々の経緯である、子供たちの教育環境改善、教員不足等のソフト面の改善が課題だったと思います。一番大事なのは子供たちなので、早急に改善を図るのであれば、データ等が示している通り、腹栄中でいいと私は思います。
委員K	私も皆さんと同意見です。教育長の夢と同意見で、すべて長洲町が一つになれるような統合になればと思います。まずは腹栄中を活用し統合を行い、将来的には小中一貫校等のビジョンを計画に盛り込んでもらえたらと思います。
委員長	近未来の学校校舎というのが 5～6年後出てくると思います。そのような学校を見据えて、大きな一歩を踏み出すと、とても素晴らしい機会になるのではないかと思います。統合先の中学校については、本日の意見を踏まえ教育委員会で決定されます。次回の協議内容は統合する中学校への通学路及び安全対策についてです。
	【閉会】